



大多田橋梁？橋梁下部空間狭くなった様に難じる



城山トンネル木之元側取っ付き道路整備進む



生瀬水管橋橋脚根巻復旧工事終わる



生瀬橋上流右岸高水護岸大型ブロック工事終了。



5月8日降雨出水威力示す倒木



オオキンケイギク落差工が蔓延阻止？（逆瀬川合流点）

城山トンネルの出入り口の接続道路工事も順調に進み、素人目にも完成後の姿が見て取れるようになった。かつて度々洪水に悩まされてきたリバーサイト住宅入り口ゲートが残ってはいる。急坂を下った先にあった住宅も全戸移転廃墟となった。訪ねてみたらフェンスに囲まれ、「高速道路リニュアル工事河川敷ヤード立ち入り禁止」の看板があるだけで、もう往時を恐ぶものは、防災無線と消火栓の標識しか残っていない。工事が終わったら工事車両がキャンピングカーに変わって賑わえば嬉しい、

非豊水期間が終わる5月末日を前に各所で行われていた河川整備工事現場は後片付けも大凡終わり、今年の豊水期間への備えも進んだように見える。5月8日天神川堤防崩壊事故は全国放送されるような騒ぎになったが、非豊水期間にも関わらず予想を超える降雨に、工事期間中の備えが耐えられなかった事故だろうと思う。異常気象が頻発するようになると、従来の発想では対応しきれない事例かも知れない。現地視察でアスファルト道路が川になり遠方まで土砂が流れた痕跡が見られた。